

万代広場基本コンセプト「人、交通、自然が気持ちよく循環する『都市の庭』」

○「都市の庭」としての駅・広場

信濃川、日本海、鳥屋野潟など雄大な自然景観を活かし、人々や交通が気持ちよく循環し、健康的で活気に溢れた魅力ある新潟市の顔。

○南北の都市軸

万代橋や鳥屋野潟方面を結ぶ「都市の軸」を南北の広場をつなぎ、鉄道と車・歩行者の連携、周辺市街地との連続性により、永く親しまれる広場。

○人を癒し、賑わいの絶えないプラザ(南北の歩行者広場)

歩行者を癒すための「水」と「緑」と「光」に満ちた空間、かつ、市民に開放され様々なイベントに対応できる賑わいのある空間。

駅舎のデザイン「都市と調和したスケール感の演出」

＜新潟らしさのキーワード＞(市民アンケートなどの自由意見から抽出)

＜柳、水、日本海、信濃川、潟、空、夕日、雪、田園風景＞【自然】

＜米、酒、魚、発酵食品、農産物＞【食】

＜港、北前船、堀、萬代橋、ガス灯＞【造形】

＜まちなみ、人柄、温泉、踊り、會津ハー、マンガ＞【文化】

(その他) 無駄な装飾、無意味なオブジェがないこと。

機能性を追求したシンプルで無駄のない広場。

新潟らしさのキーワードを表現する方法とは

- 見え方 (視点)
- 色彩 ・五感で感じられる方法
- モチーフ(意匠) ・新潟「県」らしさの加え方
- 利活用 ・地域、利用者が主体となるしくみ